

百尺竿頭

ひゃく しゃく かん とう



札幌市青少年山の家だより

第24号

平成24年(2012年)7月1日

札幌市青少年山の家
管理係主任 沼田喜成

「数字で見る青少年山の家」

いつも札幌市青少年山の家(以下、山の家)をご利用いただきましてありがとうございます。

この季節、山の緑も濃くなり、暑い日差しが木々を照らし、爽やかな風が吹き抜け、外出する機会が増えてきますね。

さて今月号は、過去2年間の団体数や利用人数等を数字で表してみました。山の家を予約するのに、参考になる表もありますのでご覧ください。

〈利用数〉

(団体・日)

	宿泊		日帰り		下見		減免対象者
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	人数
平成22年度	446	33,303	63	4,027	303	1,434	3,850
平成23年度	430	32,080	78	4,495	275	1,471	3,824

〈利用日数〉

(日)

	宿泊数	日帰数	開館日数
平成22年度	222	33	359
平成23年度	226	30	360



上表のとおり、過去2年間の数字を比較すると差ほど変わらないことがわかりますが、利用日数に注目して見ましょう。利用されていない日がおおよそ100日間あります。

では、どの月において利用数が少ないのでしょうか?? 下表をご覧ください。

〈空き数〉

(日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度	16	6	2	1	1	2	9	21	19	7	4	16
平成23年度	19	8	4	1	1	0	11	17	17	6	8	12

上表から利用団体の少ない月は、[4月・11月・12月・3月]なのがわかります。月の半分が空いている日となりますので、山の家を利用しようと考えている方は[4月・11月・12月・3月]が穴場です。

今回の題目は、〈数字で見る青少年山の家〉でした。過去2年間の数字であります。年度を通じて差ほどの変化はありません。空き数表のとおり、月毎に検証して見ると空いている月もありますので、一般団体の皆さん、学校団体の皆さん、ぜひ山の家をご利用してみても如何でしょうか。

実施事業のご報告

■第2回事前研修会 6月9日(土)

市内小学校の先生向けに山の家周辺フィールドにて活動体験研修を行いました。
各コースでは宿泊学習に向けての質疑応答が活発に行われました。

■第1回ボランティアフォローアップ研修 6月10日(日)

日本野鳥の会の猿子氏を講師に迎えて、バードウォッチングを行いました。
滝野に住む様々な野鳥について説明をいただき、有意義な研修となりました。

■幼保小連携事業「なかよしキャンプ」① 6月30日(日)

幼稚園保育園年長幼児と小学5年生を対象とした「なかよしキャンプ」を実施しました。午後の陶芸体験では次回使用する皿をみんなで作りしました。



利用者アンケートより

○ボランティアの先生のお話が大変詳しく、子どもたちも喜んでいました。

▲キャンプファイヤー場のホースが壊れていました。

⇒すべてのキャンプファイヤー場のホースを点検し、破損しているものは交換いたしました。
今後も定期点検を行い、快適に使用いただけるよう努めます。

自然の 豆知識

キャンプファイヤーをしていると、『虫が飛んできた。あっちいけ。ん？なんだか痒いぞ？
なんだなんだ？痒い！痒いっ！！』

そんな経験はありませんか。もしかしたらその正体は『ヤケド虫』かもしれません。

アオカミキリモドキは細長いオレンジの体に光沢が鮮やかなメタリックブルーの鞘翅を持つ美しい昆虫です。甲虫目でありながら体質は柔らかくプニプニとしています。是非さわってみたい！と心惹かれるのですが、実はこの虫の体液は猛毒なのです。

体液にふれてしまうと激しい痛みと、水ぶくれができ、しかもそれは2週間近く続きます。

ああ大変です。夜、光に誘われてやってくる美しい虫に、どうぞご用心。



発行者：札幌市青少年山の家
指定管理者(財)札幌市青少年女性活動協会

〒005-0862 札幌市南区滝野 247 番地 (国営滝野すずらん丘陵公園内)
電話(011)591-0303 FAX(011)591-0394
ホームページ <http://www.sapporo-yamanoie.jp>